

業務用

これからのメンテナンスを変えていく

Kireiコーティング

All in one biocide!!

熱交換器洗浄後もしくは、空調機の新規納入時にご使用いただけます。

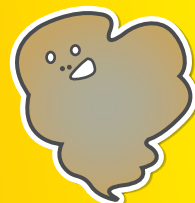
エアコン内部の汚れ ご存知ですか？



カビ汚れ



スライム・空気汚染



埃の臭い・雑菌臭



室内機の熱交換器に Kireiコーティングを使用すれば、菌を除菌し、乾燥すると防カビ抗菌剤でコーティング!!

つまり 菌繁殖を抑制し、

3つの効果は1年間*持続します!!

Kireiコーティング 3つの効果

除菌

防カビ

抗菌コーティング

一見きれいに見えるこんな場所も

店舗



事務所



病院



ニオイ・汚れ菌が繁殖している可能性があります。

Kireiコーティングで
清潔・快適な空間を実現しましょう!!

*設置環境、使用状況により効果の持続期間は異なります。

Kireiコーティング 推奨の理由



株式会社ファインテックとダイキン工業株式会社で、1年以上かけて40項目以上の評価試験と、100台以上の室内機でフィールド試験を行いました。

■ 除菌力の性能評価

試験結果 本製品塗布後、酵母菌とカビ菌を99.9%抑制。

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
酵母菌		
コロニー平均値	1.3	0

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
カビ菌		
コロニー平均値	361	0

■ 培養条件およびハローの計測

27℃ 1週間、コロニーの計測はN=3の平均値で比較する

■ 試験方法

1. 薬液作成試験薬剤2mlを減菌済試験管に準備する
2. 菌液作成供試菌を減菌精製水で105cfu/mlになるように調整する
3. 接触1の薬液に、2の菌液を100μl添加し、30秒間接触させる
4. 塗抹3の試験液100μlをPDALP培地(PDA培地にレシチン0.1%、ポリソルベート80 0.7%添加)に塗抹する

■ 試験機関

(株)ファインテック

■ 防カビの性能評価

試験結果 本製品噴射後の防カビの性能評価は「0」となった。

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
カビ菌		
評価	2	0

■ 抗菌力の評価基準

菌系の発育	結果の表示
試料又は試験片の接種した部分に菌系の発育が認められない。	0
試料又は試験片の接種した部分に認められる菌系の発育部分の面積は、全面積の1/3を超えない。	1
試料又は試験片の接種した部分に認められる菌系の発育部分の面積は、全面積の1/3を超える。	2

■ 培養条件

PDA培地 27℃ 2週間

■ 試験方法

1. 125mmφのろ紙(アドバンテック)にまんべんなくスプレーを噴霧する(噴霧量およそ2ml)
2. 1昼夜風乾させる
3. ろ紙を28mmφに切る
4. 分離した菌株を1白金耳とり、PDA培地に塗抹する
5. 中央にカットしたろ紙を乗せる

■ 試験機関

(株)ファインテック

■ 抗菌コーティング(流水後の抗菌持続性能評価)

試験結果 本製品を滴下したアルミ板において酵母菌、カビ、一般細菌にハローが認められた。

※培養後の試料の周囲にハロー(発育阻止帯:菌の発育がない透明な部分)があれば「抗菌性あり」と判定されます。

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
酵母菌		
流水前		
ハロー直径(mm)	0	65
48時間流水後		
ハロー直径(mm)	0	38
ハロー残存率(%)	0	58.5

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
カビ菌		
流水前		
ハロー直径(mm)	0	50
48時間流水後		
ハロー直径(mm)	0	36
ハロー残存率(%)	0	72.0

	コントロール (減菌水)	kirei コーティング
一般細菌		
流水前		
ハロー直径(mm)	0	48
48時間流水後		
ハロー直径(mm)	0	45
ハロー残存率(%)	0	93.8

■ 培養条件およびハローの計測

PDA培地 27℃ 2週間
標準寒天培地 37℃ 2週間
流水前と流水後のハローを比較することにより持続性を評価する

■ 試験方法

1. 4cm角のアルミ板にまんべんなく薬剤を塗布する
2. 1昼夜風乾させる
3. 風乾させたアルミ板に50cc/minの流水を48時間滴下する
4. 1昼夜風乾させる
5. 1cm角にカットした4を供試菌を塗抹したPDA培地の中央に乗せる(一般細菌の塗抹には標準寒天培地を使用)

■ 試験機関

(株)ファインテック

Kireiコーティング使用時の注意事項

(抜粋、詳細はラベルに記載)

- ・吸入・飲用・喫食不可
- ・使用時には窓を開け、換気を十分に行いながら使用すること
- ・使用時には必ずビニール手袋、マスク、保護メガネ、保護衣など保護具を着用し、本製品が直接皮膚に触れたり、吸い込んだりしないようにすること
- ・化学物質過敏症、アレルギーや皮膚炎、皮膚のかぶれを起こしやすい方は本製品に直接触れたり、吸い込んだりしないこと
- ・故障の原因になるので、計器類や電装部には決して本製品がかからないように、ビニールなどできちんと養生すること
- ・商品使用前に洗浄を実施した上で、噴霧対象が乾燥していることを確認してから噴霧すること
- ・原液のまま使用し、希釈したり他の溶液等と混合したりして使用しないこと

- ・噴霧後暖房運転を20~30分実施すること。暖房運転ができない場合は送風運転を30~40分実施すること
- ・記載された用途および使用方法以外では使用しないこと
- ・万が一本製品を使用中に気分が悪くなった場合は使用を控えること
- ・誤って目やのどに入った場合は清水で十分洗い流し、また顔や皮膚に付着した場合は石鹸で十分洗い流し、異常があれば医師の診療を受けること
- ・直射日光や火気避け、子供の手の届かない涼しいところに保管すること
- ・極端に低温または高温、湿気の多いところには保管しないこと
- ・開発提供元の文書での許可なき転売を禁止する
- ・本製品は日本国内でのみ使用できる
- ・本製品は業務用で一般の方は使用できない



ダイキン工業株式会社 サービス本部